学校番号	１００１

令和８年度　社会科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　歴史総合」（帝国出版）						
副教材等	「明解　歴史総合ノート」（帝国出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在、地球上に存在するさまざまな問題の歴史的な背景を知り、そのような問題に向き合う。
近現代以降の世界の歴史は、大きく三つ点で変化している。それは「近代化」「国際秩序の変化と大衆化」「グローバル化」である。この三つの変化が、いつ、どこで、どのような展開を経て起こり、そして、現在の社会どのような影響を与えたのかについて、歴史的な見方・考え方を働かせて考察する。

2　学習の到達目標

(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に追及・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に追及・解決しようとしている。 多面的・多角的な考察や、深い理解を通して、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前期	単元名なし　2部	近代へのあゆみ ・生産の変貌 ・資本主義と産業革命、帝国主義のはじまり ・市民革命と帝国主義 ・	a:18 近代にいたる世界と日本における政治と経済のおおまかな流れについて理解している。 b:資本主義の広がりと帝国主義国の世界侵略がどのように関係しているか、みずからの言葉で表現している。 c:18 資本主義の広がりと帝国主義国の世界侵略が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査	定期考査	課題提出 授業態度 プリント オンライン課題
	第一次世界大戦とその影響　3部	バルカン半島の緊張と世界大戦への道 第一次世界大戦の展開とロシア革命 ロシア革命と大戦の終結 大戦終結後のヴェルサイユ体制 東アジア民族自決の行方 中国・インドの民族自決の行方	a:国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化、ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変容について、資料を読み取り、理解している。 b:第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのか、ヴェルサイユ体制の特徴とその課題について考察し、みずからの言葉で表現している。 c:ヴェルサイユ体制に代表される勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。			

	大衆社会の形成と社会運動	大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 日本における大衆社会の形成 政党政治と国際協調外交の発展	a:大戦後の国際秩序と、日本を含む各国に生じた政治・社会・文化の変化、日本における政党政治の定着が果たした意義と課題について、資料を読み取り、理解している。 b:新しい国際秩序と大衆社会の特徴、日本の大衆社会と国際協調を基にした方針について考察し、みずからの言葉で表現している。 c:戦後の国際秩序および 20 世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査	定期考査	課題提出 授業態度 プリント オンライン課題
	揺らぐ国際秩序とその行方	世界恐慌が与えた影響 ファシズムの台頭と拡大 政党政治の断絶と満州事変 日中戦争の始まり	a:世界恐慌から第二次世界大戦に至るまでの欧州・日本の経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 b:ファシズム体制の形成から大戦勃発に至るまで、日本を含む各国の大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 c:世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の政府への協力が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。			
	第二次世界大戦とその影響	第二次世界大戦の始まりと拡大 太平洋戦争の開始とその展開 第二次世界大戦の終結とその惨禍 戦後処理と日本の改革 新たな国際秩序と冷戦の始まり 日本撤退後の東アジア 冷戦の展開と日本の独立	a:大戦の始まりと経緯・終戦に至る流れ、冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本を含む各国の動向に着目しながら、資料を読み取り、理解している。 b:大戦勃発から終戦、冷戦の展開に至るまでの各国の思惑を考察するとともに、国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 c:大戦の経緯の中で形作られ、大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。及しようとしている。			

後期	冷戦で揺れる世界と日本　4部	スターリン批判と日本の国際社会復帰 米ソの緊張緩和と各国の動向 第三勢力の形成と脱植民地化 パレスチナ問題と中東戦争	a:冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 b:冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 c:冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査	定期考査	課題提出 授業態度 プリント オンライン課題
	多極化する世界	ベトナム戦争と揺らぐアメリカ 冷戦下の日本とアジアの歩み 「経済大国」日本の影響 経済発展に取り組む東・東南アジア 中東情勢とソ連の弱体化	a:冷戦下の 1960 年代～80 年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 b:各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 c:冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。			
	グローバル化のなかの世界と日本	冷戦の終結と変わる世界構造 冷戦の終結が与えた世界への影響 超大国アメリカと中東情勢 国際環境の変化と日本 グローバル化による国際社会の変容	a:冷戦の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 b:グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 c:冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度